

ReadyNAS セットアップ マニュアル

NETGEAR®

NETGEAR, Inc.
4500 Great America Parkway
Santa Clara, CA 95054 USA

2007 年 10 月
208-10188-01
v1.0

商標

NETGEAR、NETGEAR ロゴ、ReadyNAS、X-RAID、FrontView、RAIDar、RAIDIator、Network Storage Processor、NSP は NETGEAR, Inc. の商標または登録商標です。Microsoft、Windows、Windows NT はマイクロソフト社の登録商標です。その他のブランドや商品名は、各所有者に帰属する商標または登録商標です。

条件の明示

製品の内部設計、操作機能、安定性などを改善するため、NETGEAR は予告なく本書に記載された製品に変更を加える権利を有するものとします。

NETGEAR は本製品やここに紹介するネットワーク構成などの使用または適用により派生する事柄について、一切の責任を追いかねます。

著作権情報

著作権法によって保護された資料を著作権所有者の明示的承諾なく閲覧、複製、配布、使用、提示または共有することは法律によって禁止されています。本製品でアクセスまたは使用される著作権法によって保護された資料に関する適切な許可またはライセンスを取得することは使用者の単独責任です。

目次

ReadyNAS セットアップマニュアル

RAIDar ユーティリティのインストール

Windows への RAIDar のインストール	1-1
MAC OS X への RAIDar のインストール	1-2
Linux への RAIDar のインストール	1-2
お使いの ReadyNAS デバイスの検出	1-3

FrontView セットアップウィザードを使用する

時刻の設定	1-8
警告コンタクトの設定	1-9
ネットワークの設定	1-10
イーサネット設定	1-10
ネットワーク設定	1-11
セキュリティの設定	1-12
管理者パスワード	1-12
セキュリティモード	1-12
ファイル共有サービスの設定	1-13
標準ファイルプロトコル	1-13
ストリームサービス	1-15
共有の設定	1-16
共有リスト	1-16
共有アイテムを追加する	1-17
プリンタのセットアップ	1-18
製品登録	1-18

RAIDar ユーティリティのインストール

このセットアップマニュアルでは、ご利用のネットワークへの ReadyNAS の接続 (1 ページの "RAIDar ユーティリティのインストール") および設定について説明します (5 ページの "FrontView セットアップウィザードを使用する " 参照)。RAIDar ユーティリティをインストールする前に、次の点に注意してください：

- RAIDar はご利用のネットワーク上の ReadyNAS を検出するためのユーティリティで、ReadyNAS インストール CD の中にあります。RAIDar は ReadyNAS が DHCP IP アドレスを取得する環境で役立ちます。
- RAIDar は、Windows、Mac OS X、Linux で実行することができ、インストールには約 40MB のディスク容量が必要です。
- RAIDar をインストールする PC と ReadyNAS は、同じ IP サブネット上にある必要があります。



著作権によって保護された資料を著作権所有者の明示的承諾なく複製、配布、使用、提示または共有することは法律によって禁止されています。著作権によって保護された資料に関する適切な許可またはライセンスの取得は使用者の単独責任です。

Windows への RAIDar のインストール

インストール CD を読み込みます。インストールウィザードに従い、RAIDar をインストールします。(インストールユーティリティが自動的に開始されない場合は、*Autorun.exe* ダブルクリックするとインストールが開始されます。)

MAC OS X への RAIDar のインストール

1. インストール CD を読み込み、Mac RAIDar セットアップフォルダを開いて *Setup_Mac.dmg* をダブルクリックするとインストールが開始されます。RAIDar インストーラアイコンがデスクトップ上に表示されます。
2. そのアイコンをダブルクリックし、インストーラの指示に従い RAIDar をインストールします。

Linux への RAIDar のインストール

root としてログインします。インストール CD を読み込み、Linux RAIDar セットアップフォルダを開いて *Setup_Linux.sh* をダブルクリックするとインストールが開始されます。

Linux での RAIDar 実行に問題がある場合：

- ターミナルセッションを開き、**nmblookup -R VOLUME** と入力して ReadyNAS の IP アドレスを取得します。LCD 付 ReadyNAS（ReadyNAS NV+ など）の場合、電源ボタンを 1 回押すと IP アドレスが確認できます。
- FrontView セットアップウィザードに接続するには、ブラウザを開き、確認した IP アドレスを使って **http://<IP アドレス>/admin** を開きます。それから 3 ページの "お使いの ReadyNAS デバイスの検出" のステップ 2 に進みます。
- ご利用の環境に既存のワークグループまたはドメインがある場合、ReadyNAS はその名前を見つけ出そうとします。**VOLUME** が機能しない場合、**nmblookup** コマンドで、ご利用のネットワークで使用されているワークグループ / ドメイン名を確認してください。

お使いの ReadyNAS デバイスの検出

RAIDar ユーティリティを使ってお使いの ReadyNAS を検出する前に、ReadyNAS の電源を入れ、起動が完了するのを待ちます（約 2 分）。



コンピュータを直接（ネットワーク経由でなく）ReadyNAS に接続する場合、コンピュータの静的 IP アドレスを 192.168.168.xxx（xxx は 1 ～ 167,169 ～ 254 のいずれか。サブネットマスク 255.255.255.0）に設定します。この後 RAIDar を使って ReadyNAS を検出するか、ブラウザを開いて <https://192.168.168.168/admin> にアクセスします。

お使いの ReadyNAS デバイスを検出するには：

1. デスクトップ上の RAIDar アイコンをクリックして RAIDar を起動します。お使いの ReadyNAS デバイスが起動され、ネットワーク接続が開始されると、デバイスが検出されます。ネットワーク上に複数の ReadyNAS がある場合、筐体の背面ラベルに記載されている MAC アドレスを確認して、これから設定する ReadyNAS を特定してください。

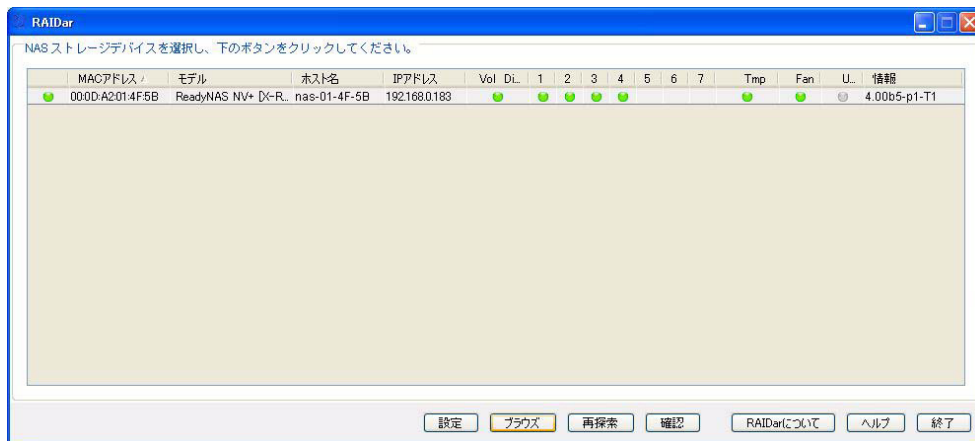


図 1

- 設定するReadyNASを選択し、[ブラウズ] をクリックすると **backup** と呼ばれる既定の共有エリアにアクセスできます。

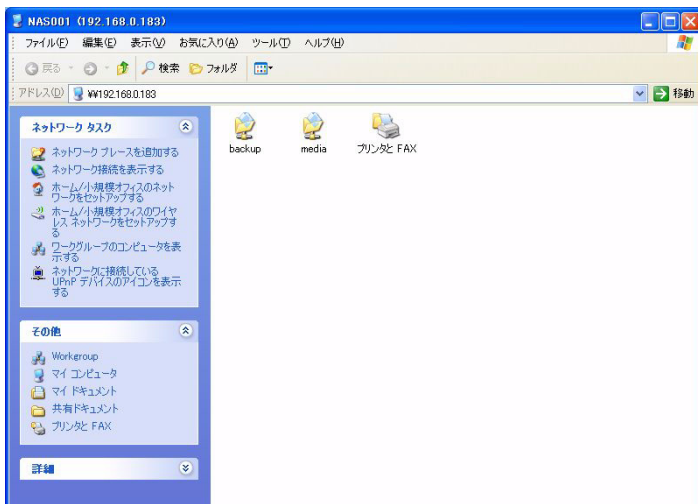


図 2

共有エリアへはデフォルトで誰もがアクセスできるようになっていますが、セットアップウィザードのセキュリティセットアップページで変更することができます。



RAIDar をインストールした PC が静的に IP アドレスを設定されている場合、その IP アドレスが ReadyNAS と同じ IP サブネット上にあることを確認してください。

FrontView セットアップウィザードを使用する

FrontView セットアップウィザードのほとんどのオプションは、最も一般的な環境向けにあらかじめ選択されています。今回初めて ReadyNAS をインストールする場合は、このウィザードを使用することを強くお勧めします。FrontView 詳細管理モードの使い方については、*ReadyNAS ユーザガイド*(PDF ファイル。インストール CD にあります)を参照してください。

標準的な FrontView セットアップウィザードの手順では、クロックの設定、警告通知コンタクトの設定、ネットワークの設定、既定の管理者パスワードの変更、セキュリティモードの選択、共有の作成を行いません。

FrontView セットアップウィザードに接続するには：

1. RAIDar の **〔設定〕** をクリックします。ログイン画面が表示されます。セットアップウィザード用の管理ユーザのユーザ名とパスワードを入力するよう促されます。ユーザ名は **admin**、パスワードは **netgear1** です。



図 3

2. [OK] をクリックします。ReadyNAS のホーム画面が表示されます。



図 4

3. 左下角の [ウィザード] をクリックしてセットアップウィザードを開始します。セットアップウィザード画面が表示されます。



図 5

セットアップ画面では、コマンドバーが右上角に、ナビゲーションおよびステータスバーが下部にあります。

コマンドバーには通常下に示すように、ブラウザウィンドウの更新、表示ヘルプ（該当する場合）、ログアウトのオプションがあります。



図 6

ナビゲーションバーを使ってウィザードを進めていきます。

- [次へ] をクリックすると、現在のウィンドウで行なった変更をすべて保存し、適用してから、次の画面に進みます。
- [次へ] をクリックする前に [適用] をクリックすると変更が保存・適用されます。画面に複数のタブがある場合は、[次へ] をクリックすると次のメニュー画面に進む前に他のタブが開きます。



図 7

- [ログアウト] をクリックすると、FrontView をログアウトします。
- ナビゲーションバーのすぐ下のステータスバーは、ReadyNAS の個別のデバイスの状態を示します。
 - 緑色 LED はすべてが正常に動作していることを示します。
 - 黄色 LED は警告または異常状態を示します。（その他 LED の状態について詳しくは *ReadyNAS ユーザガイド* を参照してください。*ReadyNAS ユーザガイド* へのリンクはインストール CD にあります）。
- 左側のメニューバーでセットアップウィザードとアドバンスモード間の切り替えができます。アドバンスモードに入るとより多くのメニューが利用できます。



図 8

時刻の設定

ReadyNAS の時刻を設定するには：

1. ログイン画面から [次へ] をクリックします。時刻設定画面（「時計」タブ）が表示されます。日付、時間、タイムゾーンを設定できます。時刻はディスク上のファイルに正しいタイムスタンプが設定されるよう、適切に設定する必要があります。



図 9

2. ReadyNAS の時刻を NTP サーバに同期場合、[下記に指定する NTP サーバーと同期を取る] ラジオボックスを選択します。NTP サーバアドレスを変更することもできます。
3. [適用] をクリックします。
4. [次へ] をクリックし、[警報] タブに移動します。

警報の送付先の設定

[警報] 画面では、警報メッセージを送信したいコンタクト名を入力することができます。警報コンタクト名を入力するには：

1. システム警報コンタクトとして使用する電子メールアドレスを入力します。

電子メールによる警報は、ReadyNAS のシステムの状態やさまざまな警告、重大なシステムエラーなどについて通知するための最も有効な手段です。

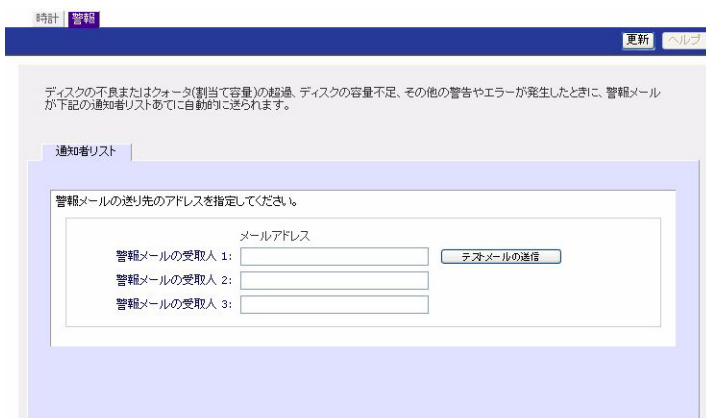


図 10

2. [テストメール送信] をクリックし、警報メッセージが正しく送信されるかを確認します。テストメールを受信できない場合、ネットワークの設定を確認してください。

一部のファイアウォールには、ReadyNAS の警報メッセージが利用できないものもあります。その場合は、セットアップウィザードが終了したあと、アドバンスモードでリモート SMTP サーバを指定する必要があります。この方法は *ReadyNAS ユーザガイド* で説明されています。



警報メールを受信する PC のメーラ設定によっては、警報メールが迷惑メールと判断されてしまう場合があります。その場合は、メーラの設定を確認してください。

3. [次へ] をクリックしてネットワーク設定画面に移動します。

ネットワークの設定

イーサネット設定

イーサネットの設定を行うには：

1. DHCPが用いられているネットワーク環境にReadyNASがインストールされている場合、工場出荷時のイーサネット設定を用いることができます。そうでない場合、IPアドレスを設定してください。

IPアドレスの設定を変更すると、ReadyNAS デバイスへの接続が一時的に失われます。RAIDarで**【再探索】**をクリックし、ReadyNASを検索して再接続してください。

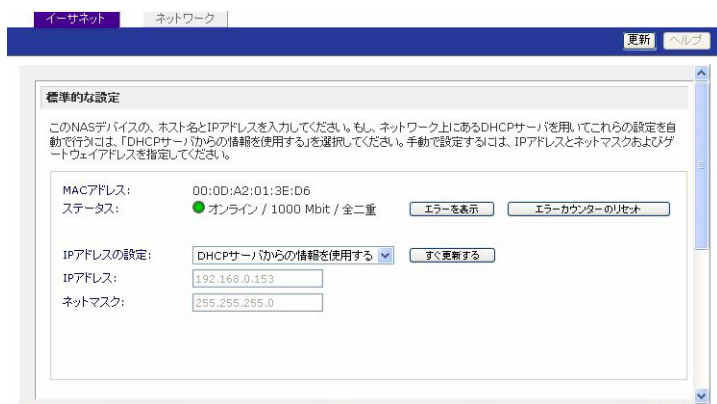


図 11

2. お使いの ReadyNAS に 2 つ以上のイーサネットインターフェースがある場合、**【次へ】** をクリックすると次のイーサネット設定ページに移動します。そうでない場合は、**【次へ】** をクリックすると **【ネットワーク】** タブに移動します。

ネットワーク設定

[ネットワーク] タブでは、ReadyNAS のホスト名、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを指定することができます。

ネットワークの設定をするには：

1. ReadyNAS のホスト名を入力します。このホスト名は Windows から、または SMB プロトコルを使用して MAC OS X から ReadyNAS にアクセスするとき、IP アドレスの代わりに使うことができます。また RAIDar スキャンリストにも表示されます。
2. [イーサネット] タブで **DHCP** を選択していた場合、お使いの DHCP サーバから通知されるデフォルトゲートウェイと DNS サーバ欄が自動的に取り込まれます。DHCP を使わない場合、指定のフィールドに情報を手動で入力します。

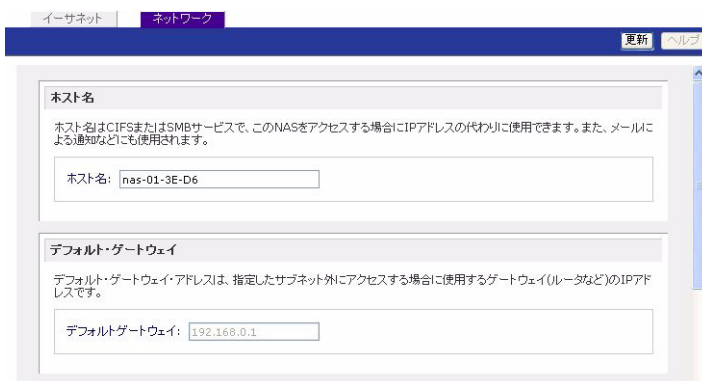


図 12

3. [適用] をクリックして変更を保存します。そして [次へ] をクリックし、セキュリティ移動します。

セキュリティの設定

管理者パスワード

[管理者パスワード] タブでは、**管理者**ユーザに割り当てられた既定のパスワードを変更することができます。パスワードを変更するには：

1. 指定の欄に新しい管理者パスワードを入力し、同じパスワードを再度入力します。

管理者パスワード セキュリティモード 更新 ヘルプ

管理用(admin)パスワードを変更したい場合は、新しいパスワードを入力し、パスワードのリカバリのための設定を行う必要があります。パスワードを忘れてしまった場合のために、パスワードリカバリに用いる質問、その答え、そしてメールアドレスを設定してください。もし管理用(admin)パスワードを忘れた場合は、指定した質問に正しく答え、正しいメールアドレスを入力することで、パスワードをリセットし、新しいパスワードが指定したメールアドレスに送付されます。この方法のほかにも、パスワードを回復するには、「工場出荷時の設定に戻す」か、「OSの再インストール」を行う必要があります。

新しい管理用(admin)パスワード:

管理用(admin)パスワードの確認:

パスワードリカバリに用いる質問:

パスワードリカバリに用いる回答:

パスワードリカバリに用いるメールアドレス:

図 13

2. パスワードリカバリの質問とその回答、新しいパスワードを送付する電子メールアドレスを入力します。パスワードが分からなくなった場合、この情報を利用しReadyNASでパスワードをリセットすることができます。
3. **[適用]**をクリックしてください。**[次へ]**をクリックして**[セキュリティモード]**タブを表示します。

セキュリティモード

ご利用の環境に適したセキュリティモードを決定する必要があります。既定の**共有**モードは、ネットワーク上の誰もがこの ReadyNAS にアクセスできる小規模な環境に適しています。このモードでの共有はパスワードによって保護されます。

セキュリティモードを選択するには：

1. 既定のワークグループ名をそのまま使うか、15文字までの長さで指定します。より詳細なセキュリティオプションは *ReadyNAS ユーザガイド* で説明されています。

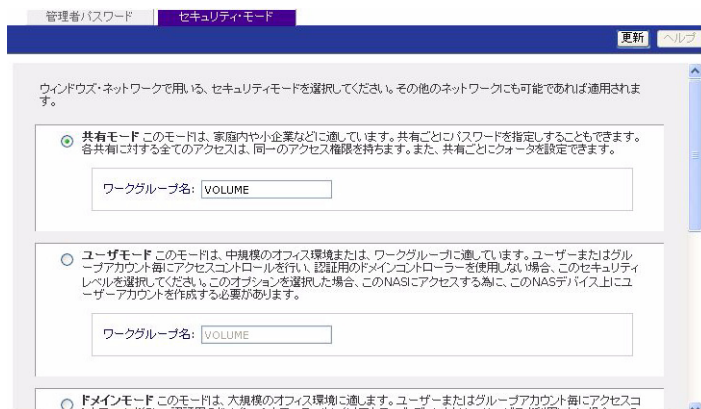


図 14

2. [適用] をクリックして変更を保存します。[次へ] をクリックし、サービス画面に移動します。

ファイル共有サービスの設定

標準ファイルプロトコル

共有とは、異なるオペレーティングシステムからアクセスできる ReadyNAS 上のフォルダです。共有フォルダへのアクセスに使用するプロトコルを選択するには：

共有とは、さまざまなファイルアクセスプロトコルで異なるオペレーティングシステムからクライアントがアクセスできる ReadyNAS 上のネットワークフォルダです。ファイルプロトコルを選択するには：

1. まず標準ファイルプロトコル画面で有効にするファイルプロトコルを選択します：
 - Windows クライアント用は CIFS です (MAC OS X を使用している Macintosh も CIFS サポートしています)。
 - Unix/Linux 用は NFS です。
 - Mac 用は AFP です。
 - ウェブブラウザからのアクセスには HTTP/HTTPS を使用します。

これらサービスについては *ReadyNAS ユーザガイド* でより詳しく説明しています。既定のままにしておき、後でこのページに戻ってご利用のサービスを選択することもできます。

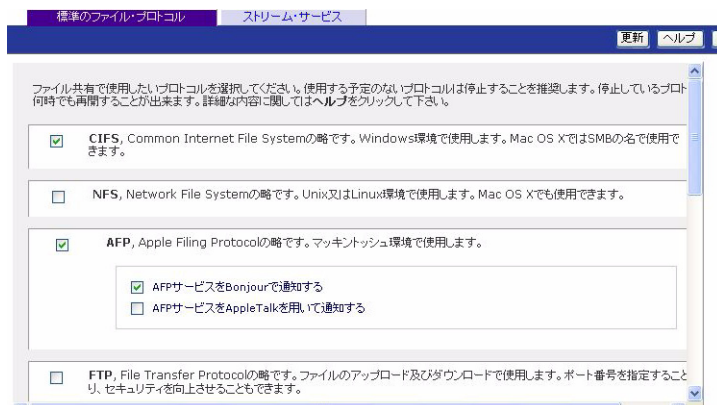


図 15

- 変更を行なった場合、[適用] をクリックします。そして [次へ] をクリックし、ストリームサービスを設定します。

ストリーミングサービス

ReadyNAS にはストリーミングメディアサービスのリストが付属しています。ネットワークメディアプレーヤーを使ってコンピュータを介さずに ReadyNAS から直接メディアファイルをストリーミングすることができます。デフォルトでストリーミングサービスは選択されていません。

ストリーミングサービスを選択するには：

1. ご希望のサービスをチェックします。



図 16

2. **[適用]** をクリックして設定を保存します。そして **[次へ]** をクリックし、共有を設定します。

共有の設定

共有リスト

共有リスト画面には現在 ReadyNAS で利用可能な共有アイテムが一覧表示されます。例として、[RAID ボリュームの共有] セクションにバックアップとメディアの2つの共有アイテムが既定のアクセス用に設定されています。




図 17

USB ストレージデバイスが接続されている場合、[USB ストレージ上の共有] には USB ストレージ共有アイテムが表示されます。

アクセス管理をカスタマイズすることで共有アクセスを特定のホストに制限することができます。[アクセスを許可するホスト] にホストを指定すると、他のホストは選択されたプロトコルを使ってその共有アイテムにアクセスすることができなくなります。ホストは IP アドレスまたは有効な DNS 名を使ってコマンドで区切り、リストに加えることができます。

選択されたセキュリティモードによって異なるオプションが利用できます。例えば、[ユーザ] または [ドメイン] セキュリティモードでは、ユーザまたはグループアカウントに基づいた共有アクセス制限のオプションがあります。より詳細な共有アクセスオプションについては、*ReadyNAS ユーザガイド*を参照してください。

共有アクセスをカスタマイズするには：

1. アクセスしたい共有アイテムの  横にあるリンクをクリックします。図 18 のような画面が表示されます。
2. 変更したいオプションを選択し、[適用] をクリックして設定を保存します。

3. [共有リスト表示] をクリックし、[共有リスト] 画面に戻ります。



図 18

共有アイテムを追加する

共有アイテムを追加するには：

1. [次へ] をクリックして [共有追加] タブを表示します。5 つまで共有名とその説明を入力することができます。
2. オプションとして共有パスワードとディスククォータを割り当てることができます。ディスククォータ機能を使い、共有アイテム毎にディスク使用量を制限することができます。

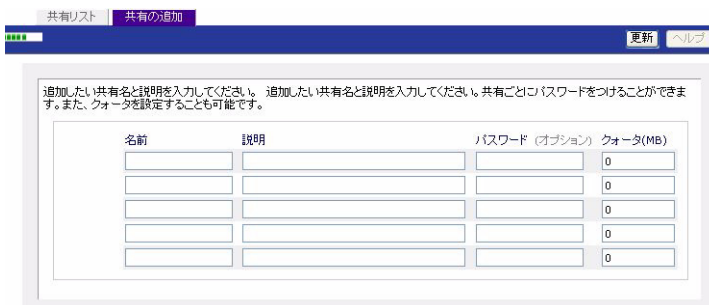


図 19

3. [適用] をクリックして変更を保存します。
4. [次へ] をクリックし、プリンタをセットアップします。

プリンタのセットアップ

プリンタをまだ接続していない場合、ここで USB プリンタを ReadyNAS に接続します。

1. USB プリンタを接続した後、数秒待ってから [更新] をクリックし、[USB プリンタ] 一覧を確認します。プリント共有名にはお使いのプリンタのメーカーとモデルが自動的に反映されます。
2. Windows でプリント共有にプリンタドライバを割り当てるには、RAIDar で [ブラウザ] をクリックするか、エクスプローラのアドレスバーに **ホスト名** を入力し、プリンタアイコンをダブルクリックします。
3. [適用] をクリックして設定を保存します。この後、[次へ] をクリックし、セットアップウィザードの最後の手順に進みます。

製品登録

NETGEAR のサポートセンターにお問い合わせ頂くには、ご購入から 30 日以内にユーザ登録をしていただく必要があります。ユーザ登録は、次の URL からオンラインで行えます。
<http://www.netgear.jp/storage-user.html>。

[次へ] をクリックし、アドバンスモードに進みます。アドバンスモードのオプションについては、*ReadyNAS ユーザガイド*で説明しています。



The screenshot shows the RAIDar web interface. On the left is a navigation menu with options like 'ネットワーク', 'セキュリティ', 'サービス', 'ボリューム', '共有', 'バックアップ', 'プリンター', 'システム', and 'ステータス'. The main content area displays system information for a ReadyNAS NV+ [X-RAID] device. A printer icon is visible on the right side of the main area. At the bottom, there are buttons for 'アドバンス' and 'ウィザード'.

ホーム 更新 ヘルプ

アドバンスコントロールモードは、セットアップウィザードに含まれていない、いくつかの設定を変更することができます。設定をおかしくしてしまいシステムの動作に重大な影響を与える場合があるので、十分注意して、設定を変更してください。もし、はじめで、NASの設定を行う場合は、**セットアップウィザード**を使って設定を行うことを推奨します。画面下方のボタンを用いて、セットアップウィザードとアドバンスモードの切り替えがいつでもできます。

ホスト名:	nas-01-3E-D6
モデル:	InfrantReadyNAS NV+ [X-RAID]
シリアルナンバー:	000da2013ed6
ファームウェア:	RAIDiator 4.00b5-p1-T1 [1.00a035]
メモリー:	256 MB [2.5-3-3-7]
MACアドレス:	00:0D:A2:01:3E:D6
IPアドレス:	192.168.0.153
ゲートウェイ:	192.168.0.1
DNSサーバ:	61.122.112.1
ボリューム C:	オンライン, X-RAID (拡張可能なRAID), 2 ディスク, 0% of 451 GB 使用中

アドバンス ウィザード

図 20

これで Windows エクスプローラを使って作成した共有アイテムに、アクセスできるようになりました。他のクライアントシステムからの共有アクセス方法についての説明は、[共有アクセス] (*ReadyNAS ユーザガイド*内) を参照してください。